

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

アンケートの
回収数をこちらに記載

公表:令和 5年 4月 17日

事業所名 ビジョントレーニング療育 ベすとびじょん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	十分なスペースを確保しています。少人数の場合は、療育スペースにおける活動、多人数の場合や、走り回るなど活発に動く活動においては、隣スペースも開放し、広いスペースを保障している。	1	10	10	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	指定基準は満たしています。しかし、より丁寧な活動を目指していくためには、誰か欠勤が入ると、緊急事態となることもあります。そのような場合には、児発管や、トレーニング教室スタッフが対応し、子どもたちのトレーニング活動の充実を保障し工夫しています。	2	10	10	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	80%	20%	当事業所は、階段を上った2階にあるため、子どもたちの発達の段階に合わせて、適切な支援を工夫し対応をおこなっています。また、活動の切り替わり時には、事前予告や視覚支援を用い、見通しがつきやすいように配慮し、子どもたち自身が自ら考えて行動に移していけるよう、支援に工夫をおこなっています。	3	10	8	2
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	日頃から、換気や消毒など衛生管理を徹底し、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています。目から入る情報量を少なくし、活動に集中しやすい環境を保障している。	4	10	10	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	定期的に業務改善に向けた話し合いや、個別のケース会議などを実施しています。職員間でも相談しやすい環境にある。活動を振り返り、その都度考えを伝え合う機会をつくっている。	5	10	10	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者向け、事業所向けの評価の結果を踏まえ、改善すべき点を話し合い、これから更なる業務改善につなげていけるように努めています。	6	10	10	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	昨年度も公表をおこないました。今年度は、保護者の方々が目を通しやすいように、公式ホームページにて公表する予定にしています。	7	10	10	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	他の事業所や学校関係者などによる評価を受け、業務改善に向けての話し合いの機会は定期的に設けています。	8	10	10	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員のスキルアップのための支援方法やプログラム等、定期的に研修をおこなっています。今年度は、当事業所において「コグトレ初級講座」の研修を実施し、職員全員初級資格認定を取得しました。	9	10	10	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	各保護者や保育園・幼稚園・学校等と連携を取りながら、実際に、子どもたちと関わり、一人一人の発達の段階を見極めたうえで、支援内容を考慮しています。また、個別支援計画原案を作成し、一人一人に応じての計画作成会議をおこない、子どもの発達についての話し合いを実施し、その結果をもとに定期的に各保護者と面談をおこない、支援計画に反映させています。	10	10	10	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	一人一人、当事業所をご利用頂くにあたり、各保護者と面談をおこない、現在の子どもの様子の聞き取りをおこないアセスメントシートに起こし、全ての職員が情報を常に共有していただけるように使用しています。書式は、基本的な生活習慣、学習面、運動面、メンタル面、困っていること、心配なこと等、見やすいように記載を工夫しています。	11	10	10	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児童発達支援管理責任者は、一人一人の発達の段階を見極め、支援目標を設定し、その内容に基づき支援内容を分かりやすく記載している。また、家族支援・地域支援・災害支援など、適切な内容を考慮し工夫し組み立てている。	12	10	10	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	個別支援計画原案会議やモニタリング会議等を定期的におこない、支援目標の見直しや、支援内容の方向性を考慮し、その計画に沿って支援をおこなっています。	13	10	10	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	一人一人が意見を出し合い、丁寧にトレーニング内容を考慮していくことで、子どもたちが楽しみ、いつでも、どこでも、だれとでも力を発揮していただけるようなトレーニング内容を工夫しています。	14	10	10	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	ビジョントレーニンに特化した療育プログラムを考え、定期的に活動内容を見直し、ねらいを持って立案し取り組みを工夫しています。	15	10	10	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%	子ども一人一人の発達の段階を見極め把握し、支援計画による支援目標に沿って活動内容を工夫しおこなっています。	16	10	10	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	業務開始前には、出勤メンバーでミーティングをおこない、その日の役割分担や支援内容の目的など話し合っています。	17	10	10	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	午前と午後に分けて、活動終了後には、子どもの様子の変化や、反省点、支援内容の見直し等の話し合いを必ずおこなっています。	18	10	10	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の支援記録は、導入ソフトHUGより、写真も含め徹底して記録に残しています。また、定期的にミーティングをおこない、記録をもとに支援内容を共有し、より良い療育活動につなげていけるよう改善に努めています。	19	10	10	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	モニタリング会議資料を作成し、その内容に基づいて会議をおこない、支援目標・支援内容の見直しをおこなっています。その際、どの職員も、子どもに対しての見立てや手立ての意見を出し合い、常に計画に反映していけるよう努めています。	20	10	10	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者は、相談支援専門員による申し出があると、その対象児童の学校へ出向き、サービス担当者会議に参加している。その際、子どもの様子や、支援目標、支援内容など、必要な事項を記載した資料を必ず作成提出し、保護者、相談員、先生と情報共有をおこない対応をおこなっています。	21	10	10	
関係機関や保護	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	各関係機関(相談支援事業所・学校・保育園・幼稚園・児童発達支援センター)と連携し、子どもの姿と支援内容、また、保護者の意向と支援内容等を共有し支援をおこなっている。	22	10	10	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	受け入れをおこなっていません。	23	10		10
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	受け入れをおこなっていません。	24	10		10
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	必要な際には、資料を作成し対応をおこなっています。	25	10	10	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
者との連携関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	必要な際には、資料を作成し対応をおこなっています。	26	10	10	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	各市町の児童発達支援センターの担当保健師と適宜連携を取り合い、支援を必要とする子どもたちの情報を共有し対応をおこなっています。	27	10	10	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	1日の生活の見通しや自立を支援している、児童発達支援センターや児童発達支援事業所とはことなり、当事業所においてはビジョントレーニングに特化した療育を目的としているので、地域との交流はおこなっておりません。	28	10		10
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%	自立支援協議会、子ども部会等への会議には参加していませんが、これから機会があれば、参加していけるよう努めていきます。	29	10		10
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	各ご自宅に送迎に行った際、保護者の心配事や、悩み、発達の成果を共有しお伝えしています。しかし、午前の対象児童におきましては、保育園から保育園への送迎対応となるため、直接的に保護者と接する機会はほとんどありません。そのような場合におきましても、導入ソフトHUGより、支援内容を細かにご説明し、それに対してのコメントもいただき、成長における情報の共有は工夫しておこなっています。	30	10	10	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	子育ての対応に悩んでいる保護者や心配事を抱えている保護者に対してなど、その都度個別に対応しています。どうすれば、子育てがしやすくなるのか、子どもへの接し方や声掛けの仕方など、子育てに対しての見通しが少しでも持ちやすくなるように、そして楽しみながら子育てに向き合っていけるように話し合っています。今後は、事業所におきましても、保護者学習会として取り組んでいく方向で準備を進めていけるように考えています。	31	10	10	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	重要事項説明書・利用契約書に基づき、適切な説明をおこなっています。	32	10	10	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	全児童に個別支援計画書を作成し、各ご家庭に配布する際には事前に説明を行っています。ご自宅保存分もお渡し、事業所にも署名・印鑑を頂き、全員個人ケースファイルに分けて保管しています。	33	10	10	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	子育ての対応に悩んでいる保護者や心配事を抱えている保護者に対してなど、その都度個別に対応しています。どうすれば、子育てがしやすくなるのか、子どもへの接し方や声掛けの仕方など、子育てに対しての見通しが少しでも持ちやすくなるように、そして楽しみながら子育てに向き合っていけるように話し合っています。	34	10	10	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	保護者間同士の連携は取れておりません。子どもさんの活動時に、ご見学に来ていただいた際には、個別に話し合いをする機会があります。今年度におきましては、事業所全体で運動会を実施し、保護者間の交流を深める機会を	35	10		10
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご家族よりご相談の申し入れがあった場合、迅速に対応に応じている。時には、相談支援員と打ち合わせをし、速やかに話し合いの場や会議の場を設ける場合もある。	36	10	10	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	事業所で導入しているソフトHUGにより、常に保護者様にはお知らせをおこなっています。	37	10	10	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	HUGにより、色々と情報を掲載していますが、他の友だちの顔部分を分からないように隠して公開するなどの配慮はきちんと行っています。また、各保護者に対しても、十分に気をつけて対応しています。	38	10	10	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	一人一人の発達の段階に応じて、場面の切り替わりや、事前予告など工夫しておこなっています。保護者に対しても、分かりやすく説明をおこない、見通しを持って接していけるよう配慮はしています。	39	10	10	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	ホームページに掲載する、チラシを配布するなどの手段を使って、事業所の体験見学や、親子体験会を実施し、ビジョントレーニングについてお伝えしています。	40	10	10	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを作成し周知を行っています。また月に1度、火災・地震の避難訓練を実施しています。曜日によって利用児童が異なりますので、定期的に全員が訓練に参加できるように年間計画を立てています。また、訓練に参加した際には、HUGより、参加の様子など写真にてお知らせしています。	41	10	10	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	地震・火災等における避難訓練を、色々な場面を想定した上でおこなっています。	42	10	10	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	アレルギーや持病等・服薬等においては把握していますが、予防接種においては確認を取っていません。	43	10	10	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーは把握していますが、医師による指示書に基づく対応は致しておりません。	44	10	10	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	その都度、ヒヤリとした瞬間の情報を共有し、職員間で話し合っています。また、記録に残し保管し、全職員で周知をおこなっています。	45	10	10	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	0%	100%	児童発達支援管理責任者は、年に1度、研修を受けております。	46	10		10
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0%	100%	身体拘束を必要とする児童を受け入れておりません。	47	10		10

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。